



パタニティ・マタニティハウス建設の記事が
埼玉新聞に掲載されました。

2016年7月22日（金）埼玉新聞より



で、秩父を舞台にしたアニメ映画「心が叫びたがってるんだ。」(心叫び)とコラボ

可上目指す

けた。補充学習は同事業の7の組みの一つ。校6校では6月4日に始まる月28日までの土曜日に各校々実施する。中学校2校では今3日に行った。補充学習の受児童生徒の自由。校は5・6年生が対象。6校96人が参加、全体の70%がた。小学校が国語と算数、中は数学と英語を実施。講師は育研究所「飛翔塾」(田辺宏)、個別指導塾「平成学館」(勝人代表)が務めている。小学校の補充授業には5年生0年生19人が参加した。6年生(飛翔塾の小高昭彦講師(34)主参加なので勉強の意識は高

スタンプラリーシート(©KOKOSAKE PROJECT)

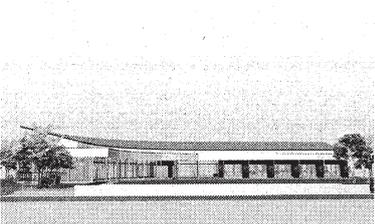
聖地巡礼を楽しむ街中回遊イベント「2016夏揚羽(あけほ)高等学校スタンプラリー」本日2年2組は授業参観日〜を開催する。映画に秩父市内や横瀬町内が登場するため、主人公が通る「揚羽高等学校」の2年2組の生徒を探しながら、11の聖地を巡る。秩父観光情報館や道の駅ちぢぶなど7カ所のスタンプのうち、5カ所以上のスタンプを集めると、ゴール地点でオリジナル(心叫び)クリアファイルが先着7千人にプレゼントする。

22日からは、毎年恒例になっているファン参加型イベント「あの花龍勢」の奉納受け付けも開始。奉納者には記念品「あの花オリジナル缶バッジ」を先着2千人に贈呈する。問い合わせは、市観光課(0494・25・5209)へ。(桜井和憲)

新たな施設は「パタニティ・マタニティハウス」。病院のすぐ近くに設置する。10年前に産後の母親支援施設を立ち上げたが、近年は父親が育児に参加するケースが増えていることから、新たな施設を設置することにした。同病院では、乳児検診に付き添う父親が10年で倍近くに増えているという。

新施設には産後の母親が入院した後、夫婦と子が2泊3日で暮らせる部屋を5室設置。子育てに精通したスタッフが常駐し、育児のコツを伝えたりする。その後、1年間利用できるサロンも設け、育児の相談をしたり、ママ友「パパ友」を作れるようなコミュニティ形成の支援をしたりするという。

同病院は「家族が大切な時間を過ごすための場所」として、夫婦の気持ちに寄り添ったパーソナルなサポートができれば一としていい。問い合わせは、同病院(049・235・8001)へ。(中島和哉)



新しく開設する施設の外観イメージ(愛和病院提供)

著からは「町が子どもたちの援をしてくれるのはありがた

が特徴。初めての子育てに

対する不安を和らげ、「コミュ

ニティ」形成の支援などを行

って子育てへの意識を高めて

いく狙いがある。